

市制100年の歴史を振り返る

川崎市誕生の理由は 関東大震災と水道にあった!?

— 100年前の真相に迫る —

今から100年前の1924(大正13)年に川崎市は誕生した。100年前、どのように川崎市が誕生したのかという背景についてはご存じだろうか。市制100周年の今だからこそ知っておきたい川崎市誕生の理由に迫る。

川崎市は、1924(大正13)年7月1日に川崎町、大師町(旧大師河原村)、御幸村を合併して誕生した。人口は約5万人であり、神奈川県下では横浜・横須賀に次いで三番目の市制施行であった。同年10月には初代市長として石井泰助氏が就任し、11月には市制施行祝賀式が盛大に開かれた。三町村間で交換された覚書によると、合併のきっかけは上下水道・道路など工業化に伴う都市施設を整備する必要に迫られたこと、また関東大震災からの復旧という喫緊の課題が加わったことで、これらの解決には広域処理が最も合理的であると判断し、合併の機運が急速に高まったと言われている。水道と震災復興が川崎市誕生の理由だったのだ。まずはこの背景から探ってみたい。

日本に市町村制が引かれたのは、廃藩置県から17年後の1888(明治21)年であり、翌1889(明治22)年に川崎町が発足している。もともと江戸日本橋を出発地とする東海道五十三次では、品川の次の宿場町が川崎である。当時、川崎の臨海部および多摩川河口周辺では、魚介類の豊富な遠浅の海が広がっており、江戸時代以来の農業・漁業や塩づくり・果物の栽培などが行われていた。1871(明治4)年には海苔の養殖が始まり、「大師のり」として県内では最大の生産量を誇っていた。

一方で、工業都市の先駆けとしての姿もあった。1886(明治19)年に多摩川河畔の戸手に造られた煉瓦製造所はその後に大量生産を開始し、横浜など各都市に煉瓦を供給することとなり、都市の整備に大きな役割を果たしたと言われている。また、製造施設の整備を支えたのは鉄道の敷設だ。東日本で最初に作ら

れた電気鉄道は、当時から多くの参拝客を集めていた川崎大師と川崎停車場近くの六郷橋とを結んだ大師鉄道だった。大師鉄道は京浜電気鉄道と名称を変え、後の京浜急行電鉄につながる礎を築くこととなる。

この京浜電気鉄道の存在は、二つの面から工都・川崎の形成に大きな影響を与えることとなる。一つは、電車の運転に必要な電力の余剰分を動力用電力として企業に供給する事業を展開したことが工業誘致に有利な条件となった点である。二つ目は、海岸地帯の交通機関整備と工場地の開発を手掛けた点である。京浜電気鉄道は川崎・鶴見町境に川崎運河を開削し、その両側を工業用地とする計画を作り、1922(大正11)年に竣工した。鉄道は乗客とともに工場生産物やその原料の輸送にも大きな力を発揮し、多摩川の砂利や奥多摩のセメント原料を浅野セメントに供給する目的を持っていた南武鉄道と合わせ、工都の拡充に重要な役割を果たしたと言われている。

1908(明治41)年に横浜精糖、東京電気が、1910(明治43)年には日本蓄音機商會が生産を開始した後、川崎市長の石井泰助は町をあげての工場誘致を展開し、地主も積極的に協力した結果、富士瓦斯紡績、鈴木商店、明治製菓、富士製鋼など大規模工場の進出を実現させた。

工業都市としてさらに発展していく期待が高まっていた1923(大正12)年、関東大震災が発生した。マグニチュードは7.9で、震源地は相模湾沖とされ、東京・横浜をはじめ湘南地方などは甚大な被害を受けた。川崎地域では、海岸に近い川崎町・大師町・田島町の三地域における死傷者数が1,150人に達し、そ

の多くが工場労働者であった。震災直後には東京・横浜からの避難者が火災を免れた橘樹郡の各町村に流入した。避難者の中には家を建てて住みつくる者もあり、約二週間のうちに市内の人口は一万人も急増したという。被害を受けた工場の再建は資金力を有する企業が急ピッチで進めたが、町を復旧させ、町民の暮らしを向上させるのは小規模な町役場には到底できることではなかった。ここで出てきたのが、川崎町と御幸村の合併話で、そこに大師町が相乗りする形で合併が急速に進められたという。

水道の話もこれと関連している。川崎町の人々は江戸時代から二ヶ領用水を農業用水としてだけでなく、飲料水としても利用してきた。掘割からの水を直接利用する地域もあったが、桶でろ過した飲料水を売る「水屋」という商売もあった。明治40年代の工場誘致が成功したことで、川崎には多くの工場労働者が流入し、一気に人口が増加した一方で、工場からの排水処理が間に合わず、二ヶ領用水の汚染が進んだ。当時の調査では川崎町の水の多くが飲用に適さず、コレラ・赤痢・腸チフス等の伝染病が流行するなど衛生上の問題も発生し、川崎町に住むことが敬遠される傾向があったという。きれいな水への期待が増す中、1910(明治43)年に最初の水道計画が立てられたが、

町の財政状況などから県の認可が下りず、川崎町は断念した。この深刻な水不足に対して危機感を覚えた石井泰助は、安定して飲料水を得るための上水道の整備を目指し、1916(大正5)年に町長を辞職し、自ら水道委員長として上水道の敷設を推進する。上水道の水源は中原村宮内に取り、御幸村戸手に浄水場を設ける計画を推進した結果、1919(大正8)年に敷設計画の認可が下り、1921(大正10)年についに浄水場が完成し、飲料水の供給が始まった。

念願の上水道完成は近隣地域へのインパクトも非常に大きく、川崎町と同様に上水道の整備が急がれていた大師町、御幸村からも水の供給を求められ、川崎町水道からの上水の供給を条件に三町村は合併した。以降、同様の理由から3年後に田島町、9年後に中原町と次々合併し、最終的には1939(昭和14)年に柿生・岡上村の合併を持って、現在の川崎市域が出来上がった。合併の背景には、唯一川崎町だけが有していた上水道の存在があったのだ。なお、田島町は川崎町との合併を望む住民側と時期尚早とする町議会側が対立し、一時は全町が騒然となる一幕もあったようだが、町議会が提案した鶴見町潮田との合併案を鶴見町側から拒否され、最終的に川崎市との合併に踏み切った経過があるという。

コラム 100年前の川崎市と比較しよう

川崎市は100年間で大きな変化を遂げた。100年前と現在の市の基礎的な数値を比較して、変化の大きさを感じてみよう。

<p>▶面積</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>1924年</p> <p>22.23km²</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>6.5倍</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>144.25km²</p> <p>2023年</p> </div> </div>	<p>▶人口</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>1924年</p> <p>50,188人</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>30.7倍</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>1,541,640人</p> <p>2023年</p> </div> </div>
<p>▶工場生産額(製造品出荷額等)</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>1924年</p> <p>4,166万円</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>81,610倍</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>3兆3998億7300万円</p> <p>2023年</p> </div> </div>	<p>▶川崎駅乗降客数(1日あたり)</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>1924年</p> <p>7,539人</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>28.3倍</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>213,180人</p> <p>2023年</p> </div> </div>

市の面積は市制施行以降、北に向かって市域を拡大し、約6.5倍に拡大した。人口は市域の拡大に加え、経済発展、鉄道沿線を中心とした開発、工場跡地の住宅建設などにより、30倍以上に増加した。工場における生産額(製造品出荷額等)は工場数の増加、設備の拡張、経済成長などにより、実に81,610倍となった。また、川崎駅の1日当たりの乗降客数は28.3倍に増加し、駅前の飛躍的な発展を裏付ける数字となった。